



BradyJet J2000
カラーラベルプリンター
ユーザーマニュアル

著作権および商標

免責条項

本書の著作権は **Brady Worldwide, Inc.**（以下、「**Brady**」）に帰属し、本書の内容は予告なく改訂される場合があります。**Brady** はそのような改訂を行う場合、その改訂内容をユーザーに通知する責任を負いません。

本書は著作権で保護されており、無断複写・複製・転載は禁じられています。本書のいかなる部分も **Brady** からの事前の書面による同意なく、いかなる方法でも複写・複製・転載することはできません。

本書を作成する上で万全の注意が払われていますが、誤りや情報の抜け、もしくは不注意、事故、またはその他の要因に起因する記載内容が原因で発生する損失や損害に対して、**Brady** は、当事者にいかなる責任も負いません。さらに、本書に記載されている製品またはシステムの導入や使用が原因で発生する損失や損害、また、本書の使用が原因で生じる偶発的または結果的な損害に対しても **Brady** はいかなる責任も負いません。**Brady** は、市場性または特定目的への適合性に対する保証を一切行ないません。

Brady は、信頼性、機能、設計を改善するために、通知することなく本書に記載されている製品またはシステムに変更を加える権利を有します。

商標

本書に記載されているブランド名や製品名はすべて該当する企業または組織の商標（™）または登録商標（®）です。

Brady による保証

当社の製品は、購入者が製品を実際に使用し、目的に適合するかどうかを判断するという了解のもとで販売されています。**Brady** は購入者に対して、本製品が材料および仕上りの面で欠陥がないことを保証します。本保証では、**Brady** による製品販売時に欠陥があったことを **Brady** が認めた場合に、製品を交換することが **Brady** に課せられた唯一の責任です。本保証は、購入者から製品を入手した第三者には適用されません。

本保証は明示適にも黙示適にも、（必ずしもこれらに限定されませんが）市場性または特定目的への適合性の黙示的保証、および **Brady** に課せられる他のあらゆる義務または責任を含む、他のすべての保証の代わりとなります。**Brady** はいかなる状況においても、**Brady** の製品を使用したこと、また使用できなかったことに関連して発生した、あらゆる種類の損失、損害、費用、結果的損害に対して一切責任を負いません。

改訂 B

© 2019 **Brady Corporation**. All Rights Reserved.

安全性および環境について

BradyJet J2000 カラー ラベル プリンターを初めて使用する前に、本マニュアルをお読みの上、その内容について把握してください。本マニュアルでは、プリンターの主な機能についてすべて説明しています。

注意事項

BradyJet J2000 カラー ラベル プリンター を使用する前に、以下の注意事項について確認してください：

- プリンターを操作する前、ならびにいずれかの手順を実行する前に、すべての説明をよくお読みください。
- 本装置を不安定な表面またはスタンドの上に乗せないでください。
- 本装置の上には何も置かないでください。
- 上部が覆われないようにしてください。
- プリンターは必ず換気の良い場所で使用してください。換気のために設置されている本装置のスロットや開口部を塞がないでください。
- 銘板ラベルに記されている電源以外は使用しないでください。
- 必ず本装置に同梱の電源コードを使用してください。
- 電源コードの上には何も乗せないでください。

テクニカル サポートおよび登録

連絡先

修理または技術的なサポートが必要な場合は、各地域の Brady テクニカル サポートの連絡先について、以下のサイトで検索してください。

- 米国 : www.bradyid.com
- ヨーロッパ : www.bradyeurope.com
- アジア太平洋 : www.brady.co.uk/landing-pages/global-landing-page
- オーストラリア : www.bradyid.com.au
- カナダ : www.bradycanada.ca
- 中南米 : www.bradylatinamerica.com

登録情報

プリンターの登録については、以下にアクセスしてください。

- www.bradycorp.com/register
- オーストラリア : www.bradyid.com.au/register
- 中国 : www.brady.com.cn/membercenter/register_product.aspx

修理および返却

修理のために BradyJet J2000 カラー ラベル プリンター を返却する必要がある場合は、Brady テクニカル サポートまでご連絡の上、修理および交換についてお問い合わせください。

本マニュアルの説明形式

本書の使用に際しては、本マニュアルの説明形式について理解することが大切です。

- ユーザーの操作が必要な項目については、**太字**のテキストで示されています。
- メニュー、ダイアログ ボックス、ボタン、スクリーンを参照している場合は、*斜体*のテキストが使用されています。

目次

1	はじめに	
	特徴および機能	1
	各種アプリケーションとの互換性	2
	システム仕様	2
2	セットアップ	
	プリンターの開梱と設定	3
	梱包内容	3
	プリンター構成部品	4
	電源	5
	消耗品の取り付け/交換	5
	消耗品ギャップ センサーの調整	8
	スルーホール ラベル	9
	インク カートリッジ	9
	インク カートリッジの位置合わせ	12
3	システム ツールの使用	
	ステータス モニター	13
	インク レベルのモニタリング	14
	出力または切断モード	14
	カッターのオプション	15
	ラベル オフセットの調整	15
	設定	18
	ファームウェア アップグレードのインストール	19
4	ラベルの印刷	
	Brady ワークステーション	20
	プリンター ドライバーの設定	20
	ページ サイズ	21
	フル ブリッド印刷の作成	21
	方向	22
	印刷解像度	23
	カラーの一致	23
	インクの彩度	23
	双方向印刷の有効化	23
	ステータス モニターの起動	23
	詳細/印刷カウンター	23
	他のプログラムからの印刷	24

5	メンテナンス	
	プリンターのクリーニング	25
	インク カートリッジのクリーニング	25
	ラベル詰まりの修正	26
6	トラブルシューティング	
7	ラベル仕様	
	ラベル感知方法	28
	ロール仕様	30
A	規制へのコンプライアンス	
	該当機関へのコンプライアンスおよび承認	31
	United States	31
	FCC Notice	31
	Estados Unidos	31
	Aviso de la FCC	31
	Canada	32
	Mexico	32
	ヨーロッパ	32
	RoHS 指令 2011/65/EU、2015/863/EU	32
	Turkey	32
	無線の規制に関する情報	33
	United States	33
	Información reglamentaria sobre conexiones inalámbricas	34
	Canada	35
	Mexico	35
	欧州連合 (EU)	35
	海外	35

1 はじめに

BradyJet J2000 カラー ラベル プリンターをご購入いただき、ありがとうございます。本プリンターは鮮やかなカラーでプロ仕様の非常に明確なテキストとバーコードを作成し、ラベルのロールに直接印刷できます。必要な作業は以下のとおりです。

- インク カートリッジを取り付けます。
- ラベルを入れます。
- ラベル作成ソフトウェアから印刷できるようにラベルを送り込みます。

Brady Corporation が提供しているラベルとインク カートリッジは、プリンターおよびソフトウェアと連動するようプログラムされています。これにより、本システムの利点を最大限に活用できます。

特徴および機能

本製品は使いやすく、ラベル作成要件を容易に満たすことができます。以下は本製品の特徴の一例に過ぎません：

- 小型、軽量、卓上でも使用可能
- 1670 万色
- 印刷解像度：4800 x 1200 dpi、1200 x 1200 dpi、600 x 600 dpi
- 取り付けが容易
- ダイカット ラベル用の移動可能なシースルー センサー
- 何色でも、どのようなスタイルまたは素材でも PC からラベルを印刷可能

各種アプリケーションとの互換性

BradyJet J2000 カラー ラベル プリンターは Brady® Workstation デスクトップ ソフトウェアと互換性があります。

Brady Workstation ソフトウェア と併用すると、プリンターは最大 108 mm (4.25 インチ) までの幅の有効かつ互換性のあるラベル材を自動的に認識します。他のソフトウェアとの併用については、該当するアプリケーションの説明書を参照してください。

注記： 本プリンターで使用できるのはBradyJet J2000 カラー ラベル プリンターの消耗品のみです。

システム仕様

- 重量 : 3.2 kg (7 ポンド)
- 寸法 (保管時) : 26.4 cm x 38.9 cm x 18.0 cm (10.4 インチ x 15.3 インチ x 7.1 インチ)
- 作動温度 : 5~35°C (41~95°F)
- 作動湿度 : 10%~60% (結露なし)
- 保管 : -20~60°C (-4~140°F) (カートリッジを除く)
- 電圧 : 100~240VAC、50/60 Hz、60ワット
- 印刷解像度 : 4800 x 1200 dpi、1200 x 1200 dpi、600 x 600 dpi
- 最大ラベル長 (連続) : 609.6 mm (24インチ)
- データ インターフェイス : USB 1.1
- 最低システム要件 : Pentium® IV 以上のコンピューター、512MB RAM
5GB のハード ドライブ空き容量、USB 1.1/2.0 ポート

2 セットアップ

プリンターの開梱と設定

プリンターを注意して開梱し、プリンターの表面（内部/外部の両方）およびラベリング システムに、輸送中に発生した損傷がないか確認します。

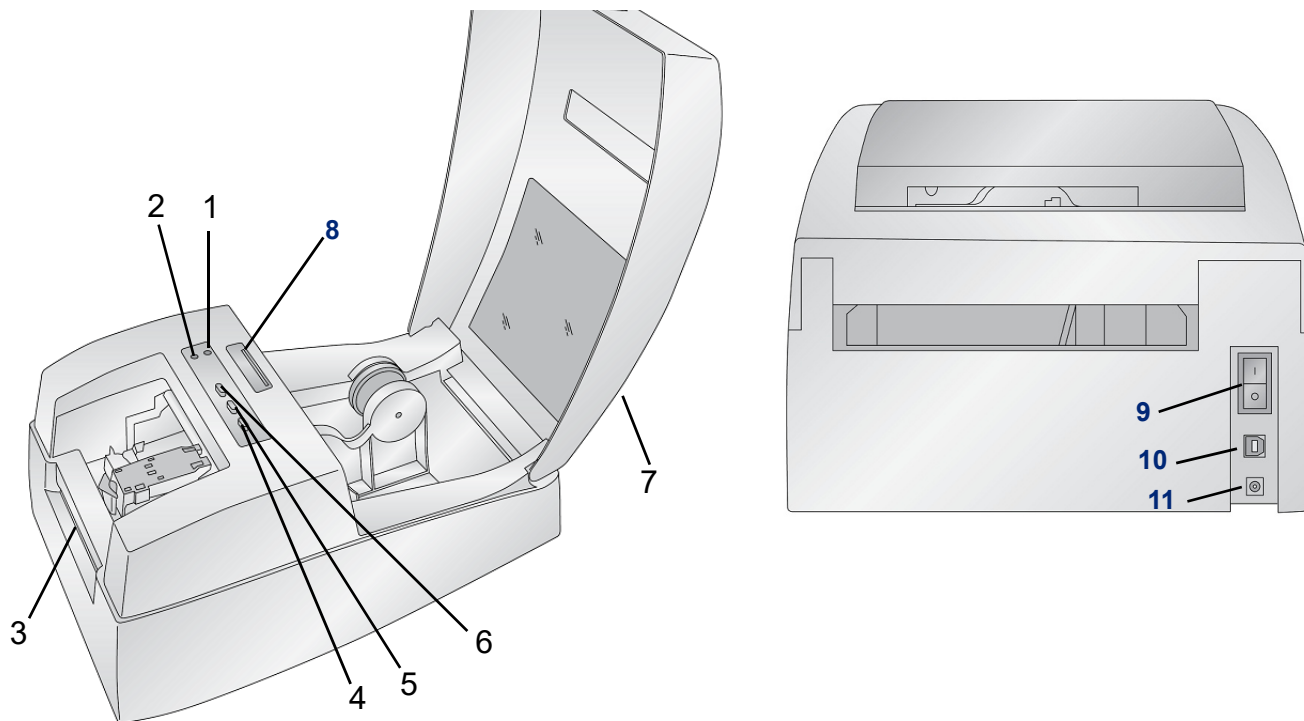
注記： プリントヘッドの周辺、およびトップカバーの内部に輸送用の梱包材が残らないようすべて取り除きます。

梱包内容

- BradyJet J2000 カラー ラベル プリンター
- 電源アダプター
- 電源コード
- 6フィートのUSBケーブル（他のUSBケーブルを使用している場合は6フィート（2メートル以下）でなくてはなりません。）
- カラー インク カートリッジ
- プリントヘッド位置合わせ用のラベル材ロール
- クイック スタート マニュアル（印刷版）
- Brady ワークステーション プrintアウト
- USB フラッシュ デバイス（ユーザー マニュアルとプリンター ドライバーを含む）

注記： プリンターの返品に備えて、梱包材（箱を含む）はすべて保管しておいてください。

プリンター構成部品



- | | | | |
|----|---------------|----|-----------------|
| 1 | パワー LED | 2 | インク残量低下 LED |
| 3 | ラベル テアー バー | 4 | 取り外しボタン |
| 5 | 取り付け/フィード ボタン | 6 | インク ボタン |
| 7 | 筐体カバー | 8 | ラベル TOF センサー バー |
| 9 | 電源スイッチ | 10 | USB ポート |
| 11 | 電源入力ポート | | |

注記： 本プリンターにはユニバーサル電源が搭載されており、100~240 V (50~60 Hz) の電圧で作動します。

- **インク残量低下 LED** は、カートリッジのインク残量が 10% 以下になると点灯します。
- **電源 LED** は、プリンターの電源が入っており、印刷ジョブを受け取れる準備が整っていることを示します。
- **インク ボタン** はカートリッジを中央に動かし、インク カートリッジを取り付けられるようにします。カートリッジを取り付けた後、再びインク ボタンを押してください。
- **取り付け/フィード ボタン** は、ラベルを取り付けたり、プリンターを通してラベルをフィードするために使用します。
- **取り外しボタン** は、インストール済みのラベルをプリンターから反転させて取り外します。
- **ラベル テアー バー** はぎざぎざのエッジで、印刷が終了したラベルをプリンターから取り外せます。

重要！ 取り外しボタンを押す前に、印刷済みのラベルを切り離してください。

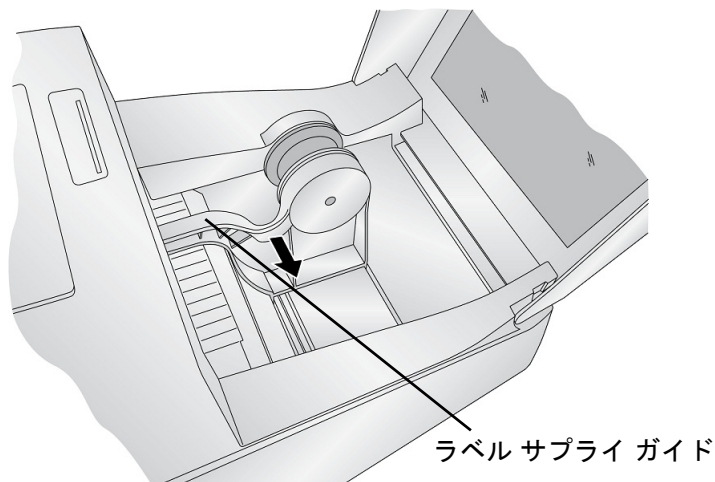
電源

1. 電源ケーブルをプリンターの背部の電源入力ポートに差込みます。
2. コードの反対側をコンセントに差し込みます。
3. 電源をオンにします。

消耗品の取り付け/交換

BradyJet J2000 カラー ラベル プリンターでは様々な Brady ラベルを使用できます。ラベルでインクジェット印刷を受け取ることができ、割り当てられたサイズであれば、このプリンターで使用できます。

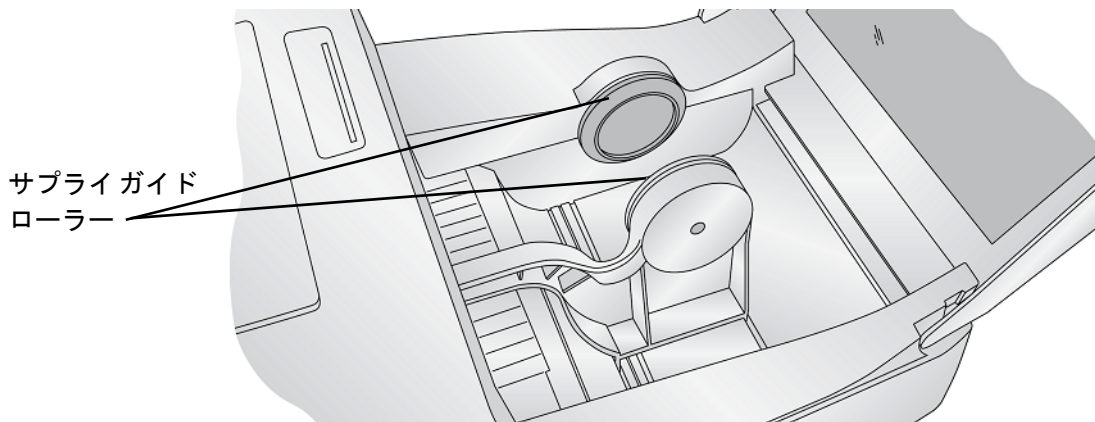
1. **トップ** カバーを開きます。
2. ラベルをはめられるようにスプリング付きラベル サプライ ガイドを引っ張って十分に離します。



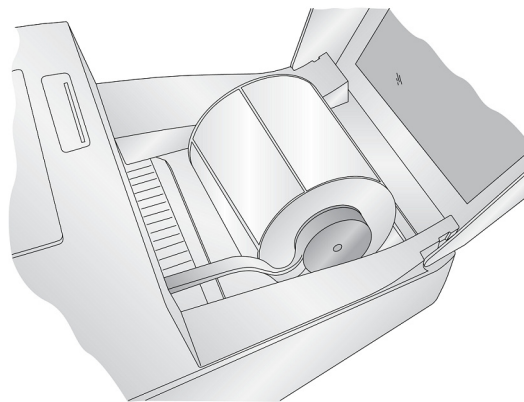
3. ラベルのロールから発送用テープを取り除き、ロールが自由にほどけるようにして、接着部分が暴露されないようにします。

重要！ 接着面が暴露されると、印刷機構の内部にくっつき、詰まりの原因になる可能性があります。

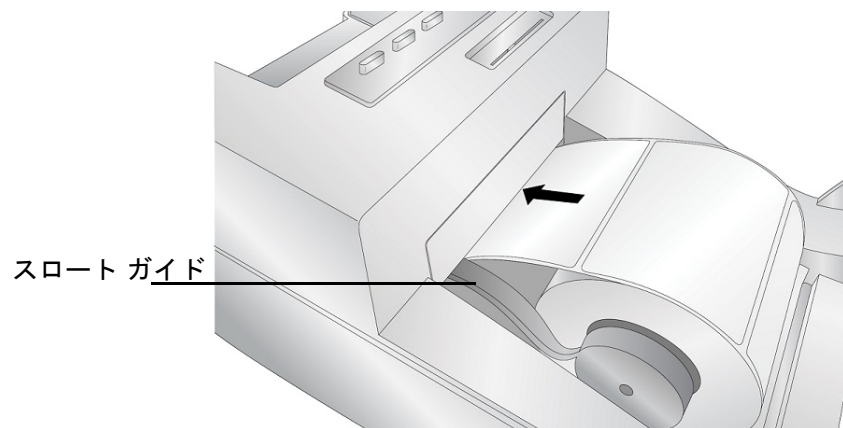
注記： 標準的な正方形や長方形のダイカットラベル以外のラベルを使用する場合は、8ページの「[消耗品ギャップ センサーの調整](#)」を参照してください。



- ラベルのロールをサプライガイドローラーの間に配置し、プリンターに面してラベルロールのキャップが左側になるようにします。ラベルを保持できるようにスプリング付きサプライガイドをリリースします。
サプライガイドローラーを使用すると、ラベルロールが自由に動きます。



- ラベルの先端をスロートガイドとプリンターの側面の間に入れます。



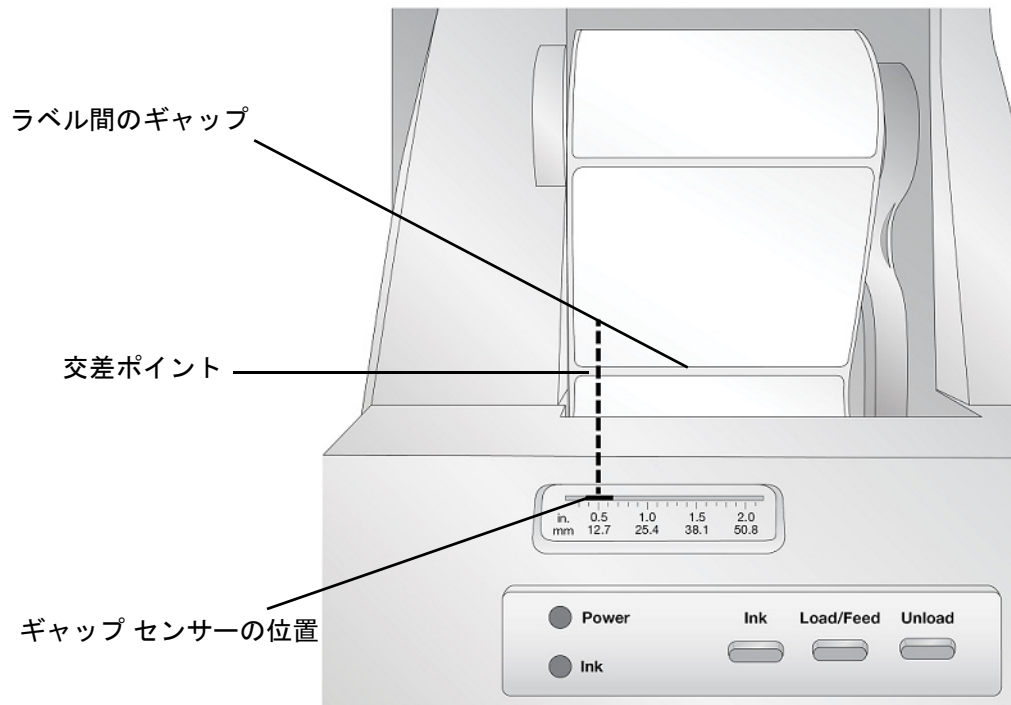
6. すばやくラベルをプリンターにフィードし続けます。フィードローラーから抵抗を感じたらやめます。

プリンターがラベルを感知し、自動的にプリンターを通してフィードします。プリンターがラベルをフィードできなければ、取り付け/フィードボタンを手動で押し、ラベルをプリンターに入れながらフィードローラーを作動させます。

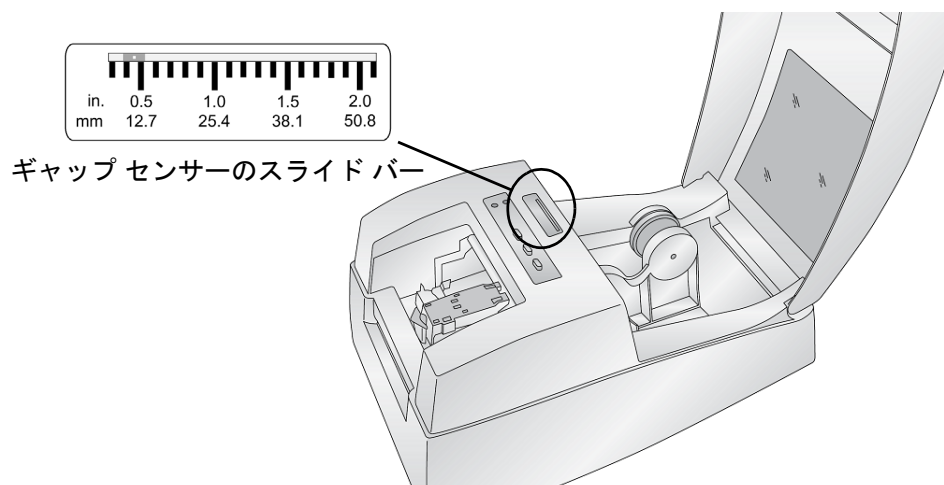
注記：ラベルがまっすぐフィードされるよう、ラベルの先端全体がフィードローラーに接触するまで、ラベルをすばやくプリンターに押し入れてください。ラベルの幅が広い場合は、ラベルをプリンターに押し入れる間、手で均一の圧力をかけて前進させ、フィードします。

消耗品ギャップ センサーの調整

サブライ ギャップ センサーは、ラベルの最上部から光を照らし、最下部にあるセンサーからその光を読み取ってラベル間のギャップを「確認」します。デフォルトで、このセンサーはラベルの左側から0.5インチ（約13mm）のギャップを読み取れるよう設定されています。スライドバーに示されているようにラベルのギャップがギャップの位置と交差する場合は、これを調整する必要はありません。このセクションをスキップしてください。ほとんどのラベルでは調整が不要です。



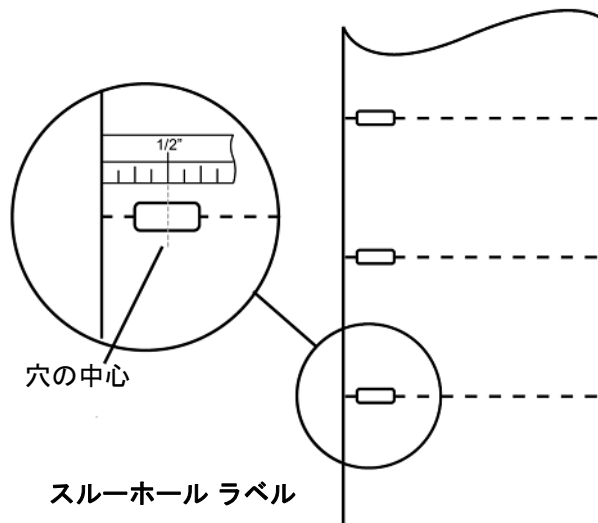
標準的な正方形/長方形のダイカット ラベル以外のラベル（スルーホールなど）を使用している場合は、以下の手順に従ってサブライ ギャップ センサーを調整してください。



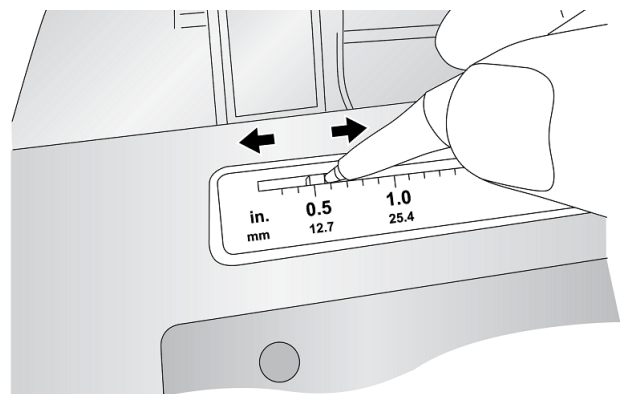
スルーホール ラベル

バックングからラベルへの移行を識別するための穴やノッチが付いたラベルを使用する場合は、識別マークの上に配置されるようセンサーバーを調整できます。センサーが右側または左側に寄りすぎてもプリンターはラベルを感知しますが、プリンターは誤った位置で印刷を開始するため、画像が下向きにオフセットされる可能性があります。

センサーバーにはインチとミリメートルのガイドが付いており、識別マークの上にセンサーの位置を合わせられるようにバーの設定場所を特定できます。これを行うには、ラベルの端からラベルの適正な位置までの距離を測定します。ギャップセンサーバーをこの測定値に設定します。



ギャップセンサーの位置を調整するには、ペンを使用してスライドバーを適正な位置に動かしてください。

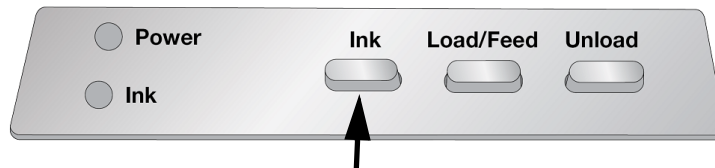


インク カートリッジ

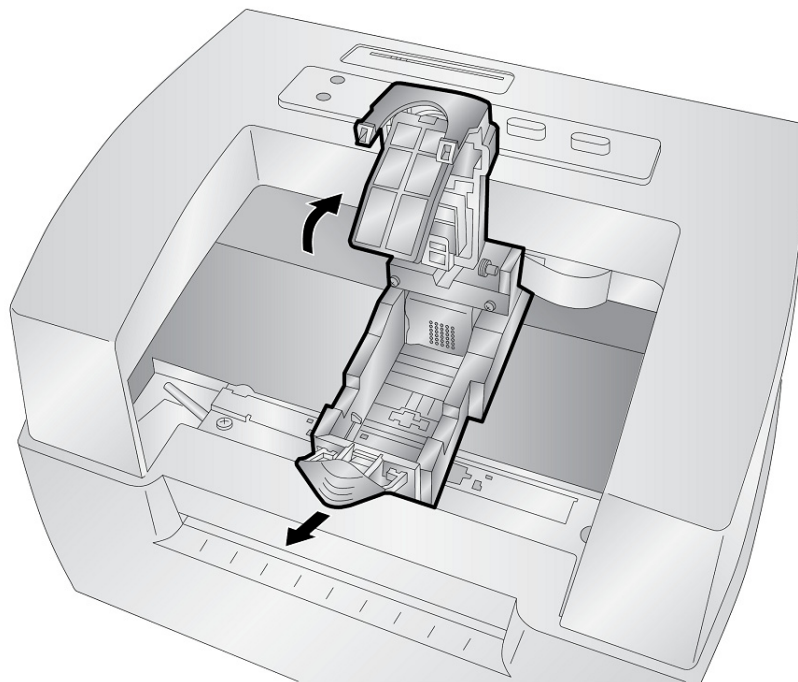
カートリッジの残量が10%になると、カートリッジを交換するようステータスモニターに表示されます。まだ許容できる質であれば、この警告は無視できます。ただし、次の警告が0%で表示される前にカートリッジのインクがなくなると、ラベルを無駄にしてしまうかもしれません。カートリッジを交換する際は以下の手順に従ってください。

新しいカートリッジを取り付けた後、最高の品質を確保するため、位置合わせ確認用の印刷を行うことができます。ただし、印刷ジョブをキャンセルする必要があります。インクカートリッジの交換をスムーズに行いたい場合は、位置合わせ用印刷の警告を無効にできます（12ページの「[インクカートリッジの位置合わせ](#)」を参照）。

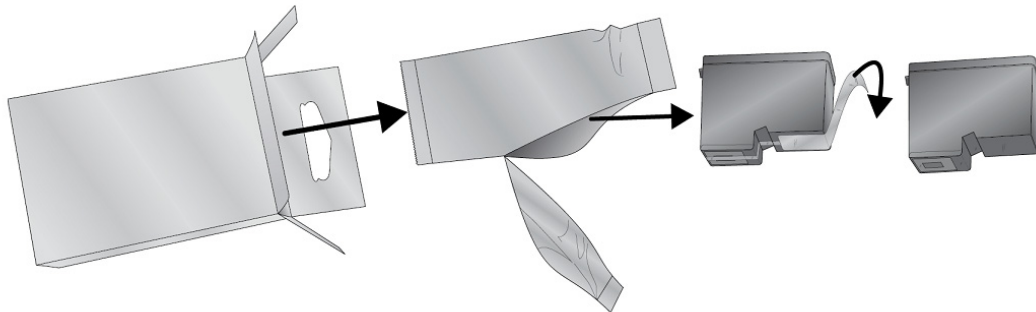
1. プリンターのトップカバーを開きます。
2. プリンターの [インク] ボタンを押してください。



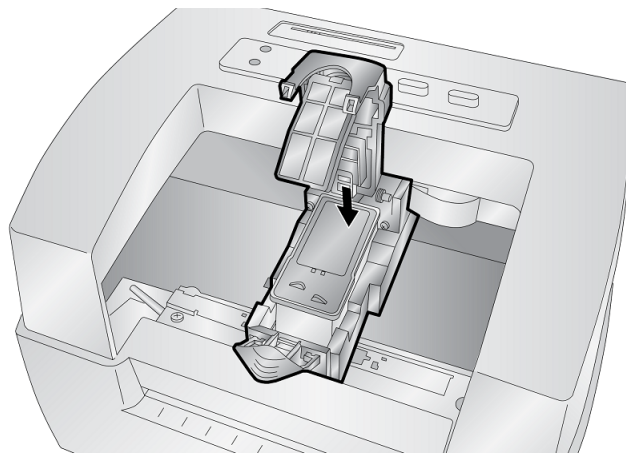
3. カートリッジキャリアが自動的に印刷エリアの中央に位置合わせされます。
4. カートリッジカバーリリースを押して、カートリッジのホルダーを開きます。



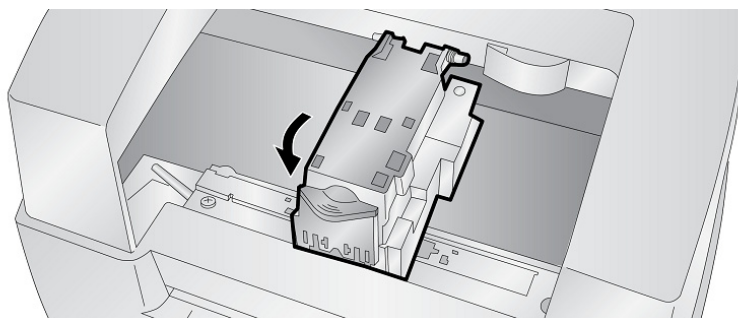
5. 新しいカートリッジの梱包を取り除きます。銅の接点をカバーしている保護テープを必ず取り除いてください。



6. 最初にカートリッジの銅側を交換するか取り付けます。



7. カートリッジのカバーを押し下げ、所定の位置にカチッとはめます。

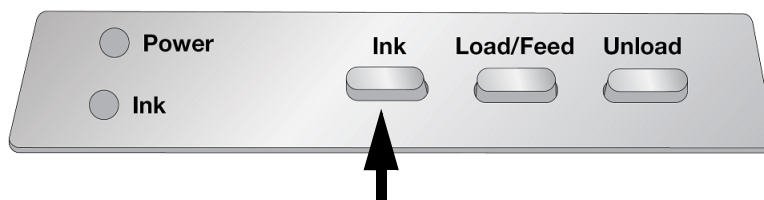


注記： インク カートリッジのレベルは見積です。

8. プリンターの [インク] ボタンを押すと、新しいカートリッジが取り付けられたことが示唆されます。

カートリッジの位置合わせを行うよう指示されます。

4"x2" (101.6mmx50.8mm) 以上のラベルがインストールされているという警告が表示されます。ラベルがこの要件を満たしている場合は [OK] をクリックしてカートリッジの位置合わせを行います。このサイズ要件に合っていない場合は、[OK] をクリックする前に 12 ページの「[インク カートリッジの位置合わせ](#)」を参照してください。



インク カートリッジの位置合わせ

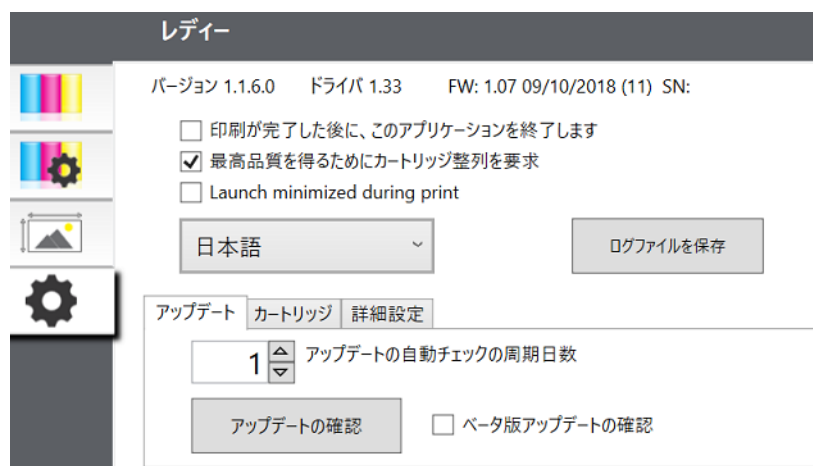
カートリッジの位置合わせにより、カラー カートリッジが双方向印刷用に位置合わせされ、各カートリッジに合わせてプリンターのキャリブレーションが行われます。この位置合わせは、新しいカートリッジを取り付けるたびに行うよう自動的に指示されます。また、ステータス モニターを使用してカートリッジを手動で位置合わせすることもできます。

位置合わせのためには、4"x2" (101.6mmx50.8mm) 以上のラベルをインストールする必要があります。この要件を満たさない場合は、この目的でプリンターに同梱されていたサンプル ロールを使用できます。また、ステータス モニターの設定エリアで位置合わせを無効にすることもできます。

位置合わせの無効化：インク カートリッジの交換をスムーズに行いたい場合は、位置合わせ用印刷の警告を無効にできます。双方向の印刷が有効になっている場合、位置合わせを行うと印刷の質が改善します。プリンター ドライバーで双方向印刷が無効になっている場合、これは不要です。

位置合わせはステータス モニターから無効にできます。

1. [ステータス モニター] を開きます。
2. [設定] タブ (4 番目のタブ) を選択します。
3. [最高の質のためにカートリッジの位置合わせが必要] からチェックを外します。



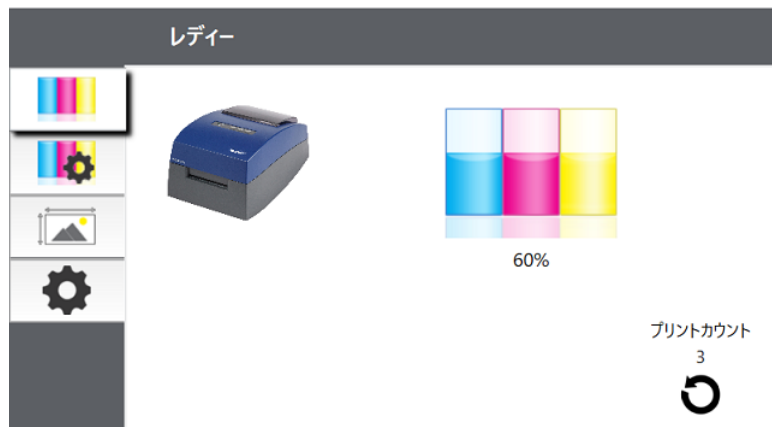
3 システム ツール の使用

ステータス モニター

ステータス モニターは、インク レベル情報の収集、メンテナンス、位置合わせのほか、複数の機能をモニタリングするために使用されます。

プリンター ドライバーに自動的にインストールされ、プリンター ドライバーの設定からアクセスするか、Windows スタートメニューでプログラムとして設定できます。

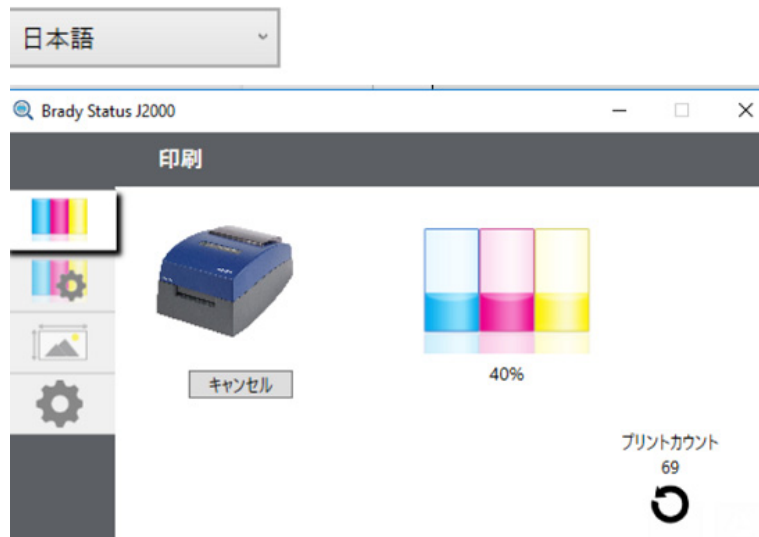
1. USB を使用してコンピューターにプリンターを接続し、電源を入れます。
ステータス モニターは使用する情報のほとんどにプリンターからアクセスするため、プリンターをオンにして、プログラムが通信できるように開いておく必要があります。
2. [スタート] > [プログラム] > [Brady] > [J2000 ステータス モニター] の順に進みます。
ステータス メニューは、ウィンドウの左側に並んだ4つのタブで構成されています。各タブは、類似した様々な機能を含む画面を開きます。これらのタブは、プリンターがアイドル状態の場合にのみ表示されます（印刷中ではありません）。



- [インク] タブ（最初のタブ）：インク レベルと印刷数が表示されます。
- [カートリッジ設定] タブ（2番目のタブ）：プリントヘッドの位置合わせ、プリントヘッドのクリーニング、カートリッジの変更を実行できます。
- [位置合わせ] タブ（3番目のタブ）：垂直および水平の印刷位置合わせの調整、サプライセンサーモードの変更、出力/切断モードの切り替えを実行できます。
- 設定タブ（4番目のタブ）：言語設定の調整、自動更新、印刷位置合わせの設定、バージョン番号の表示、ログファイルの作成を実行できます。

インク レベルのモニタリング

ステータス モニターで [インク] タブ（最初のタブ）を使用すると、インク レベルをいつでもモニタリングできます。印刷の開始直後、ステータス モニターが開き、インク レベルが表示されます。



最上部のバーには印刷ステータスも表示されます。印刷ジョブが現在、印刷中の場合は、この画面で [キャンセル] ボタンをクリックすると停止できます。

注記： インク カートリッジのレベルは見積です。

出力または切断モード

出力/切断モードを使用すると、印刷後にプリンターがラベルを出力する方法や、印刷後にラベルを切断するかどうか、およびそのタイミングを調整できます。調整を行うには、ステータス モニターを開いてください。

1. USB を使用してコンピューターにプリンターを接続し、電源を入れます。
出力/切断モードの設定はプリンターのメイン ボードに保存されるため、プリンターをオンにして、コンピューターと適切に通信できるようにしなければアクセスできません。
2. [スタート] > [プログラム] > [Brady] > [J2000 ステータス モニター] と進みます。
3. [位置合わせ] タブ（最上部から 3 番目のタブ）をクリックします。
4. [出力/切断モード] ボタンをクリックします。

カッターのオプション

切断しない：ラベルは印刷後、同じ位置にとどまります。

アクティビティがなければ切断：この設定では、プリンターがキューにある最後の印刷ジョブ後、1秒以内に別の印刷ジョブを受け取らない場合、印刷ジョブの終了時にラベルが切断されます。この機能を使用すると、キューにある複数のコピー ジョブ、複数のページ ジョブ、または複数の個々のジョブの終了時にラベルが切断されます。

ボタンを押した後に切断：この設定を使用すると、プリンターの取り付け/フィード ボタンを押した後にラベルが切断されます。これは、1枚のラベルまたはジョブ全体の印刷後に使用できます。この機能は、切断されたラベルをキャッチするため、印刷の終了時に先送りしない場合に有用です。

各ラベルを切断：この設定では、各ラベルは印刷後に切断されます。

指定されたラベル数の後に切断：このオプションでは、[ラベルの印刷後に切断] 設定で指定したラベル数の後でラベルが切断されます。値を変更して [設定] をクリックすると、プリンターに送られます。



ラベル オフセットの調整

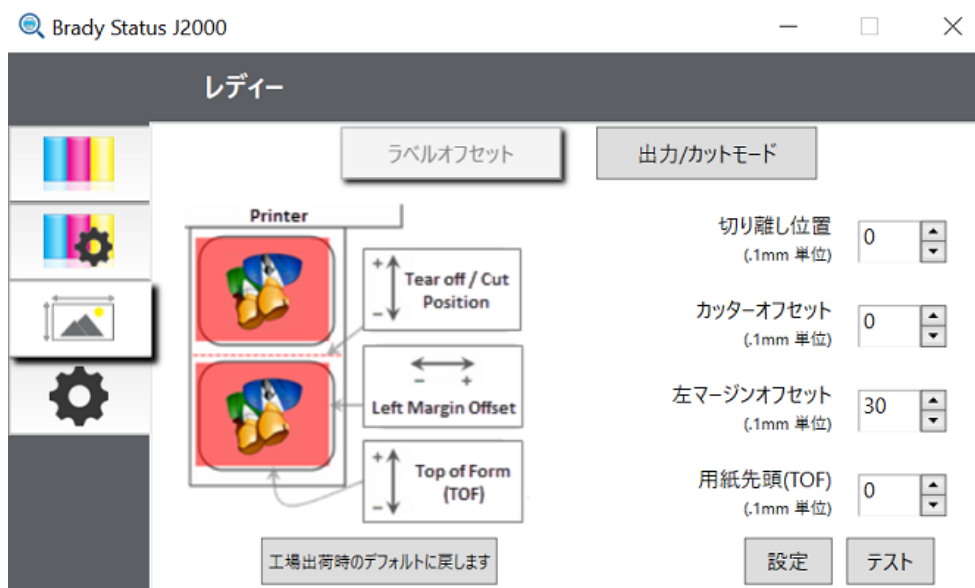
ステータス モニターの [位置合わせ] タブ (3番目のタブ) を使用すると、ラベルの垂直および水平印刷位置を調整できます。ラベルの端が白くなっている場合は、このセクションを使用して印刷位置を調整できます。

約216mmx279mm (8.5インチx11インチ) の用紙で手紙やカードしか印刷したことがない場合は、ラベル印刷の基本的な機能である印刷オフセットと位置合わせについてはよくご存じないかもしれません。標準的なプリンターはシートをフィードし、シートの開始位置に基づいて印刷を始めます。また、シートの端に印刷することはできません。これはオフセットの調整が必要になることを避けるためです。しかし、BradyJet J2000 カラーラベルプリンターは光学センサーでラベルの開始を感知し、

上、下、左、右の端にも印刷できます。このため、特定のタイプのラベルを使用できるようにプリンターを調整する必要があります。

BradyJet J2000 カラー ラベル プリンターは工場でキャリブレーションが行われており、Brady ラベルの端にも正確に印刷できます。プリンターは、ダイカット ラベルの開始ポイントを検出するか、ラベルの開始に相当するスルーホールを検出して印刷の開始位置を決めます。ただし、左マージンの変動や他の変数が原因で、各ロールの開始時にこの設定を微調整する必要があるかもしれません。

重要！ 位置合わせの設定を調整する前に、まず、ジョブ全体で使用したい品質レベルでラベルを1枚印刷してください。これにより、ラベルが同じ速度で移動し、サプライセンサーが同じ方法でギャップを感知することを確認できます。



ここでは3つのアイテムを調整できます。

切り離し位置：この値は、切り離せるように先送りされた後、印刷された最後のラベルの位置を調整します。これは、出力モードが [ラベルの先送り] に設定されている場合にのみ該当します。

- 切り離し位置をプリンターに近づけるには現在の値を増やします。
- 切り離し位置をプリンターから離したい場合は現在の値を減らします。

値の調整後、[設定] ボタンをクリックし、値をプリンターに送ります。

左マージンのオフセット：この値によって、印刷されたラベルが左または右に動きます。

- 印刷されたラベルを右に動かすには、現在の値に追加します。
- 印刷されたラベルを左に移動するには、現在の値を減らします。

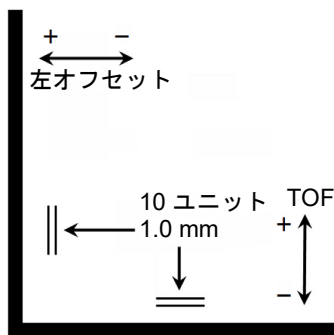
値の調整後、[設定] ボタンを、クリックし、値をプリンターに送ります。

重要！ この値を調整する前に、ラベルが適切に取り付けられており、台紙の端と固定スロートガイドの間にギャップがないことを確認してください。この時点でギャップがあれば、ラベルの位置合わせに必要な左マージンのオフセットに大きく影響します。また、不適切に取り付けられたラベルで値を調整すると、次回、ラベルを適正に取り付けた際に再び調整する必要が出てきます。

フォームのトップ (TOF) : この値により、ラベルの印刷開始位置を上下に動かします。微調整が必要な場合は、この値を増やしてラベル上で画像を下に移動します。ラベル上で画像を上に移すには値を減らしてください。測定単位は 0.1 mm です。

- 印刷されたラベルを下向きまたはプリンターに向けて動かすには、現在の値を増やします。
- 印刷されたラベルを上向きに移動するか、プリンターから離すには、現在の値を減らします。

値の調整後、[設定] ボタンをクリックし、値をプリンターに送ります。



ひとつまたは複数の値を何度か調整する必要があるかもしれません。毎回調整した後、[テスト] ボタンをクリックし、ラベルに小さいテストパターンを印刷してください。これにより適切な位置合わせの値を見つけられます。

設定

[設定] タブ（4 番目のタブ）を使用すると、様々な詳細設定を調整できます。



ステータス モニターの [ソフトウェア バージョン]、プリンター ドライバー、プリンター ファームウェアがこのタブの最上部に表示されます。

カートリッジの位置合わせ：[カートリッジの位置合わせが必要] オプションをチェックすると、双方向モードで印刷する際、可能な限り最高の印刷の質が維持されます。プリンター ドライバーの設定で双方向印刷が無効になっている場合、カートリッジの位置合わせは不要です（20 ページの「プリンター ドライバーの設定」を参照）。インク カートリッジの交換をスムーズに行いたい場合は、この設定からチェックを外すことができます。設定がチェックされている場合は、カートリッジを交換するたびに印刷ジョブをキャンセルして、印刷の位置合わせを行う必要があります。

言語：このタブのドロップダウン メニューを使用して、J2000 ステータス モニターで表示する言語を選択します。

ログ ファイル：[ログ ファイルの保存] をクリックすると、関連のあるログ ファイルすべてを含むジップ ファイルがデスクトップに保存されます。テクニカル サポートはトラブルシューティングの際、この情報が必要になることがあります。

ソフトウェアの更新：ステータス モニターはデフォルトで自動的に毎日、更新をチェックするように設定されています。この間隔は変更できます。更新が見つかった場合は、これを適用するよう指示されます。更新はドライバー、ステータス モニター、またはプリンター ファームウェアが対象になっている可能性があります。

ファームウェア アップグレードのインストール



注意！ アップグレード中はプリンターの電源を切らないでください。

1. コンピューターで www.bradyid.com にアクセスします。
2. ポインターを [ヘルプ] に合わせ、[ダウンロード] の見出しの下で [ファームウェア] をクリックします。
3. リストで最新の BradyJet 2000 ファームウェア アップグレードを見つけてクリックします。プリンターのモデルを見つけやすいようにリストはアルファベット順に並べ替えられます。
4. [ダウンロードを開始] をクリックします。
5. ダウンロードしたファイルを USB メモリに保存します。
6. USB フラッシュドライブをプリンターの空き USB ポートに差し込みます。プリンターがアップグレード ファイルを認識し、タッチパネルにメッセージが表示されます。

タッチパネルに表示される手順に従ってください。アップグレードが完了すると、プリンターが再起動します。

4 ラベルの印刷

Brady ワークステーション

BradyJet J2000 カラー ラベル プリンターは Brady® Workstation デスクトップ ソフトウェアと互換性があります。Brady Workstation ソフトウェア と併用すると、プリンターは最大 101.6 mm (4 インチ) の幅の有効かつ互換性のあるラベルを自動的に認識します。他のソフトウェアとの併用については、該当するアプリケーションの説明書を参照してください。

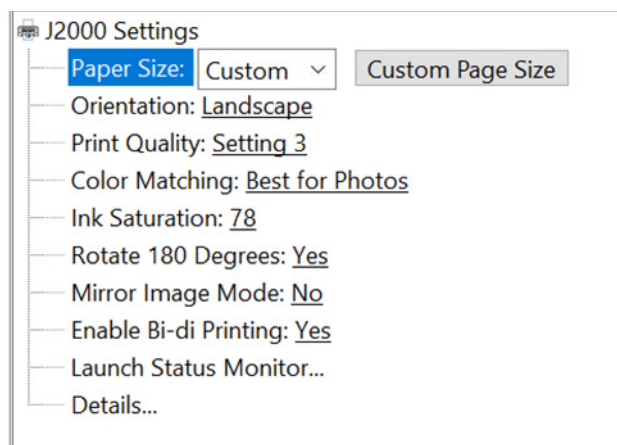
プリンター ドライバーの設定

以下の方法で変更された設定は、Brady Workstation または他のプログラムで設定の変更後に作成された新しいデザインすべてに適用されます。設定はラベルで保存されるため、Brady Workstation に保存されている既存のラベルは影響を受けません。このような設定を変更するには、印刷前に [ドキュメントのプロパティ] ボタンをクリックし、Brady Workstation からプリンターの設定を変更する必要があります。

ドライバーの設定を見つけるには：

1. [スタート] ボタンをクリックします。
2. [プリンターとファックス] を選びます。
3. **プリンターとスキャナーのアイコン**を右クリックして、ドロップダウンメニューから **[印刷設定]** を選択します。

設定画面が表示されます。



注記：ほとんどのアプリケーションでは、「印刷」画面から同じプリンター ドライバーのオプションを変更できます。Brady Workstation のようにラベルで設定を保存するアプリケーションもあれば、プリンターに送られたばかりの現在の印刷ジョブのみの設定を使用するものもあります。

ページ サイズ

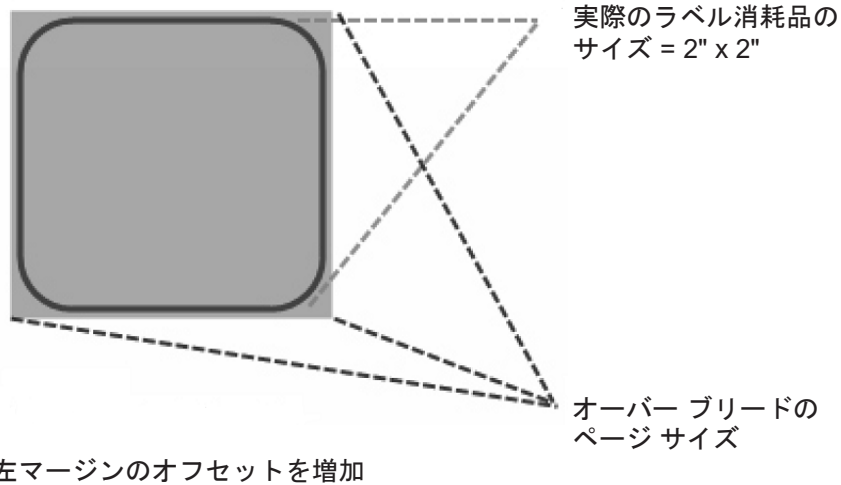
Brady Workstation を使用なさっている場合、この設定はラベル設定ウィザードで調整できます。異なるプログラムを使用しているのであれば、これをラベルの寸法に設定する必要があります。寸法が常にプリンターの実際のラベルの幅と高さに対応している点に留意してください。ラベル上の画像の方向では、この設定を変更できません。ラベルの最小および最大サイズについては、[28 ページの「ラベル仕様」](#)をご覧ください。

フル ブリード印刷の作成

画像がラベル全体をカバーできない場合は、まず、選択したラベルのサイズと同じ大きさに画像が印刷されていることを確認します。これを Brady Workstation で行うには、画像をラベルより数ミリメートル大きくします。すべての側面で画像をラベルの端の上までドラッグしてください。ラベルの端を超えると、画像のまわりのボックスが赤くなります。再び印刷して、ラベル全体がカバーされているか確認します。まだ問題が続いている場合は、プリンター ドライバーの設定でこれらの設定を調整してください。

- ページサイズ：**ドライバーの設定でページサイズの幅を 0.05 インチ（約 1.2 mm）増やします。高さは 0.05 インチ（約 1.2 mm）増やします。Brady Workstation を使用している場合は、[ファイル メニュー]-[ラベルのセットアップ] でサイズを変更できます。新しい大きなページサイズに合わせて画像のサイズを大きくします。他の図形プログラムを使用している場合は、そのアプリケーションとプリンター ドライバーの設定でページサイズを変更する必要があります。
- 左マージンのオフセット：**左マージンのオフセットをページサイズ幅増分の半分に減らします。この場合は値を 6（0.025 インチに相当）減らします。これでページサイズの増分が中央揃えになり、左右両側で 0.025 インチ（約 0.6 mm）オーバー ブリードになります。
- フォーム最上部：**TOF を 6 増やします。これにより、プリンターはラベルの前に印刷を開始し、ラベルが完全に印刷されます。

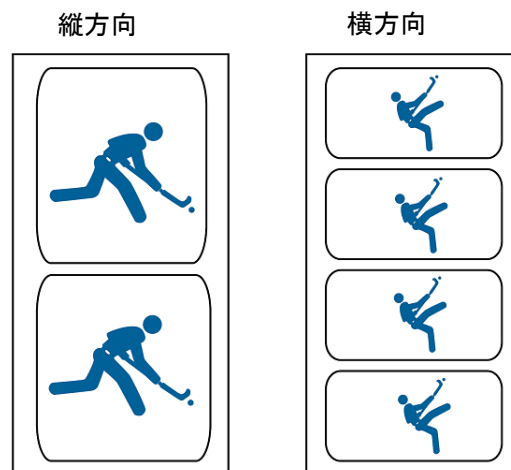
TOF を低減



注記： オーバーブリードはなるべく小さく抑え、ラベルのバックングでインクが過剰になることを避けるようにしましょう。また、オーバーブリードが過剰になると、プリンターがラベルをスキップする原因になります。プリンターが次のラベルを感知して停止するのが遅すぎるためです。

方向

方向の設定は2種類あります。縦向きと横向きです。テキストと図形を左から右、または画面に表示されているように印刷する場合は、縦向きを選びます。画面に表示されている画像から90度回転させて印刷する場合は、水平に印刷されるように横向きを選択してください。用紙サイズの設定の幅と高さは変わりません。これは、プリンターで横向きに印刷されるラベルを画面上で縦向きに表示するためのツールに過ぎません。



印刷解像度

ドライバの印刷解像度設定は4つあります。設定が低いほど印刷速度は速くなります。設定1は最も早く印刷でき、設定4は遅い速度ですが解像度と画質が最も高くなります。デフォルトの設定は設定3で、印刷速度、解像度、画質のバランスが最もよく取れています。特定の用途でラベルをデザインする際に異なる設定を試してみてください。

カラーの一致

「**図形に最適**」モードは、正確なカラーの再生がそれほど重要ではないグラフィックな画像に最も適しています。このモードで印刷される画像は、より鮮やかになります。より多くのインクを使用して印刷されるためです。ただし、人の画像を印刷すると、肌の色が赤みがかかる可能性があります。

注記： ドライバのコントロールが及ばない要因が影響するため、印刷ラベルと画面の正確なカラーの一致は可能ではないかもしれません。ラベルの表面は、カートリッジのインクに反応してカラーを作り出します。このため、表面が異なる別のタイプのラベルで同じ画像を印刷すると、まったく異なる様相のものが印刷される可能性があります。

インクの彩度

このオプションでは、画像の印刷時に使用されるインクの量をコントロールします。デフォルトの設定は78%で、カラーの一致が最も正確になります。インクの渴きが遅すぎるか、にじむ場合は、インクの彩度を下げて、ラベルに適用されるインクの量を減らすことができます。

双方向印刷の有効化

印刷速度を最速にするには [はい] に設定します。カートリッジを替えるたびに位置合わせ確認印刷が必要です。よりよい質の印刷を行うには [いいえ] に設定してください。

ステータス モニターの起動

コンピューターで [スタート] > [プログラム] > [Brady] > [J2000 ステータス モニター] と進みます。

詳細/印刷カウンター

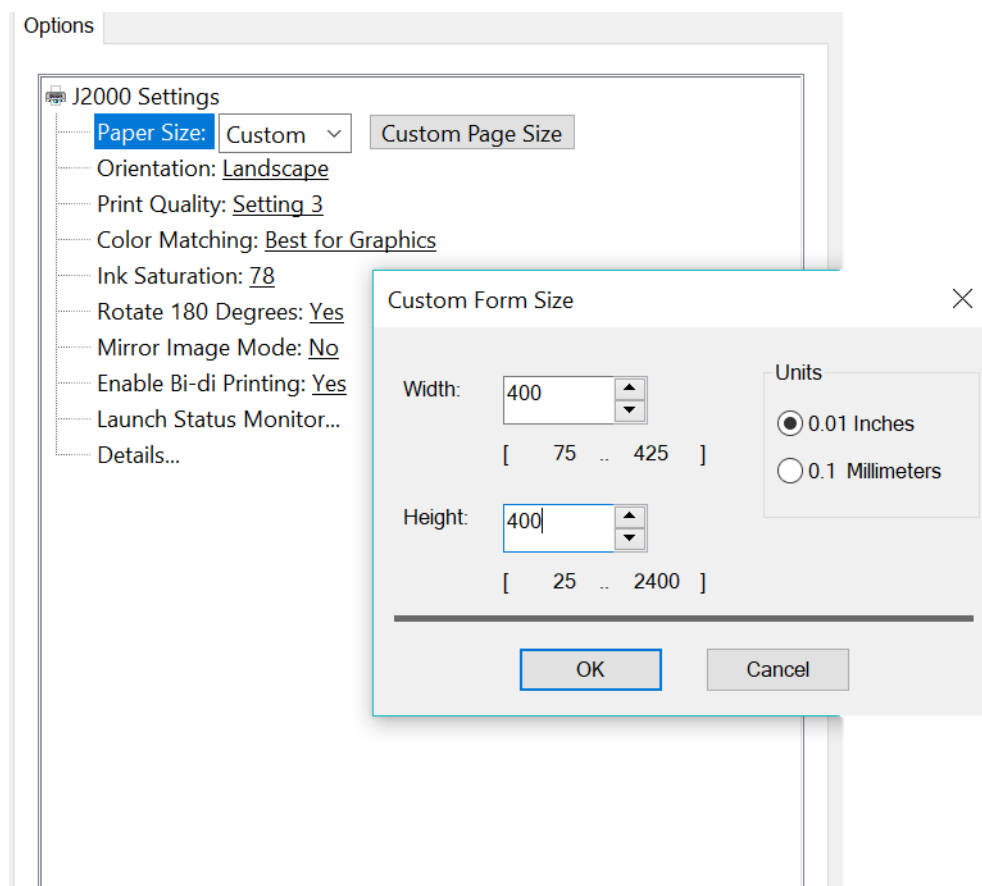
詳細ボタンをクリックすると、プリンターに保存されているプリンター設定の情報が表示されます。詳細ウィンドウには印刷カウンターもあり、前回のリセット以降に印刷されたラベル数をカウントできます。

[カウンターのリセット] を使用して、カウンターをゼロに設定します。

他のプログラムからの印刷

このプリンターは標準的な Windows プリンター ドライバーを使用しているため、どのアプリケーションからでも印刷できます。操作をより簡単にするために覚えておくべき点があります。

1. **ドライバーでページ/ラベル サイズを設定します。** Brady Workstation は、使用されているラベルのサイズを自動入力します。他のプログラムから印刷する場合は、これを手動で行う必要があります。印刷する前に印刷設定で印刷の質を設定したように [用紙サイズ] も設定します。以下の例では、ラベルのサイズは 4" x 4" なので、カスタムのページ サイズは 400 x 400 (0.01 インチ単位で表示) に設定されています。



2. **画像またはドキュメントのサイズをチェックします。** 画像のサイズまたはドキュメントのサイズは、ドライバーで設定されたページ/ラベルのサイズに呼応する必要があります。ドライバーでページ サイズを 4" x 4" に設定したものの、画像が実際には 5" x 3" の場合、プリンター ドライバーは 4" x 4" のラベルにおさまるように画像を自動的に縮小します。この結果、実際に印刷されるラベルは 4" x 2.4" になります。これを避けるには、ドライバーでページ サイズを設定し、印刷するアプリケーションで画像サイズを設定して、プリンターにインストールされたラベル サイズを一致させてください。

5 メンテナンス

トップカバーを開く作業を伴うメンテナンス手順を実行する前に、プリンターから電源と消耗品を取り外してください。

プリンターのクリーニング

J2000の電源プラグが常にコンセントに差し込まれ、電源がオンになっている状態にしてください。プリンターは定期的なメンテナンスを実行し、ノズルに詰まりがないことを確認します。

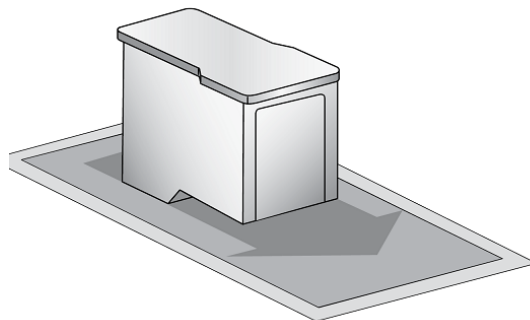
プリンターのケースはアンモニアベースのウィンドウクリーナーと柔らかい布できれいにできます。

時間の経過に伴い、インクのスプレーしぶきがプリンターのベース部分にたまる可能性があります。プリンターは真空システムを使用して、このようなインクのほとんどを一連の浸透パッドに集めるようデザインされています。このパッドは最終的に交換する必要が出てきます。パッドの交換が必要かどうか判断するにはテクニカルサポートに連絡してください。

インクカートリッジのクリーニング

印刷の質が落ちたことに気づいた場合、または、カートリッジのノズルがわずかに乾いているか詰まっていることが疑われる場合は、インクカートリッジのノズルをきれいにする必要がありますがもしれません。印刷の質に問題がある場合は、以下の手順に従ってください。

1. 印刷カートリッジを取り外します。
2. 柔らかい布を水で湿らせます。
3. この布を3秒間、ノズルに当てます。
これにより濡れた布が余分なインクを拭き取ります。
4. 一方向に向けて拭き取ります。
5. このプロセスを繰り返します。

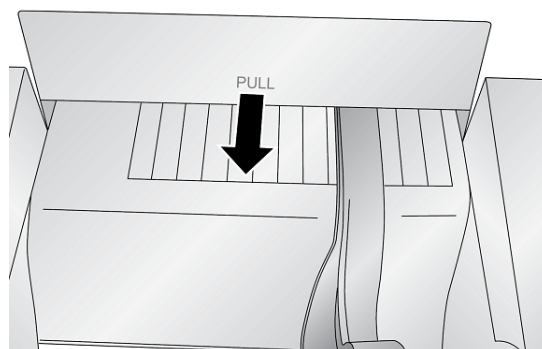


ラベル詰まりの修正

プリンター内部でラベルが詰まった場合は、まず、カバーを開けてプリンターのフィード出力エリアから詰まっているものを取り除いてください。

どこで詰まっているのかわからない場合は、フィード入力エリアのカバーを取り外すことができます。以下のようにカバーの中央を引っ張り、両側にあるタブをリリースします。

将来の詰まりを防止するため、消毒用アルコールを使用してプリンターのフィード エリアに残っている接着剤を取り除いてください。

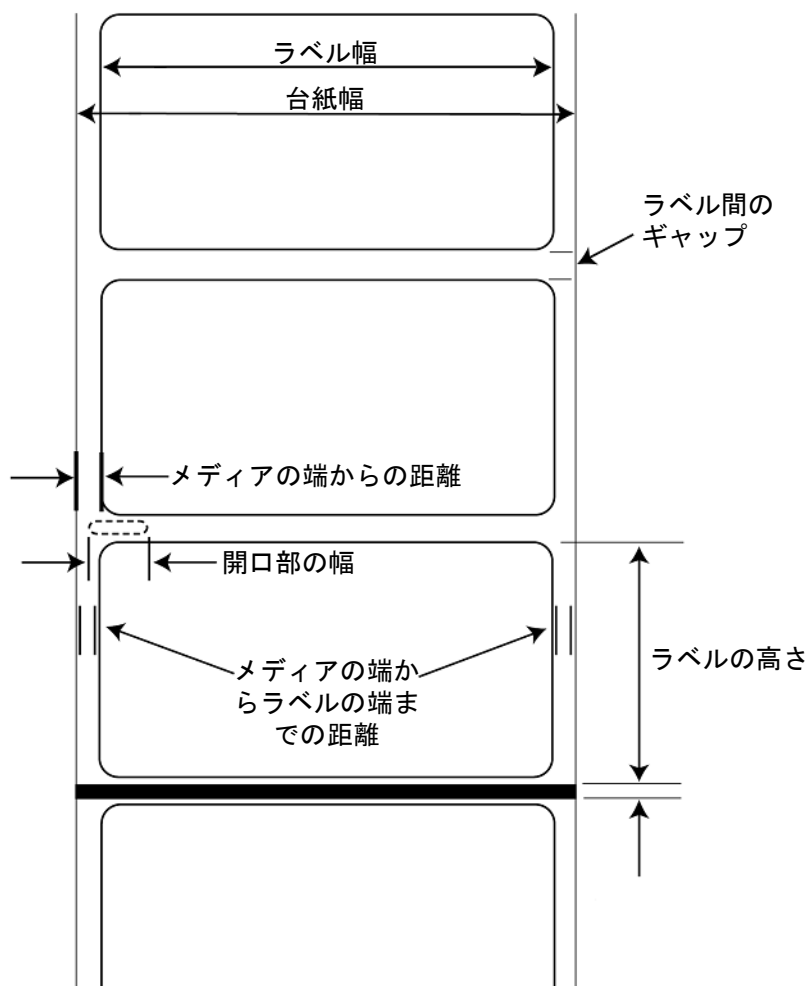


6 トラブルシューティング

問題	原因	解決策
ラベルの最上部または最下部に望ましくない白い余白がある。	印刷が垂直にオフセットになっています。	15 ページの「ラベル オフセットの調整」を参照。
ギャップの距離がずれている。	標準的でないラベルの形状がインストールされています。	8 ページの「消耗品ギャップ センサーの調整」を参照。
印刷がラベル上の誤った位置で始まるか、ラベルをスキップする。	ページ サイズが誤って設定されています。	21 ページの「ページ サイズ」を参照。
次のラベルとのギャップに印刷する。	縦向き / 横向きの設定が誤っています。	22 ページの「方向」を参照。
標準的でないラベルで印刷がずれている。	サプライ ギャップ センサーを調整する必要があります。	9 ページの「スルーホール ラベル」を参照。
ラベルの左または右に望ましくない白い余白がある。	印刷が水平にオフセットになっています。	ラベルの左側の余分な白い余白の値を増やすか、右側の値を減らすかして、左余白のマージンを調整します。15 ページの「ラベル オフセットの調整」を参照。
ラベルの右側に望ましくない白い余白がある。	ラベルに対してページ サイズが十分に大きくありません。	21 ページの「ページ サイズ」を参照。
画像がラベル全体をカバーしない。	画像がラベルのサイズよりも小さくなっています。	ラベルのサイズいっぱいになるように画像を大きくしてください。
	ページ サイズが誤っています。	ページ サイズの幅と高さをそれぞれ 0.05 インチ (約 1.2 mm) 増やします。21 ページの「ページ サイズ」を参照。
	左マージンのオフセットが誤っています。	左マージンのオフセットの値を 6 (または 0.025 インチ = 約 0.6 mm) 減らします。15 ページの「ラベル オフセットの調整」を参照。
	フォーム最上部 (TOF) の設定がずれています。	TOF を 6 増やします。15 ページの「ラベル オフセットの調整」を参照。
印刷中にラベルがスキップされる。	ラベル バックイングのインクが過剰です。	印刷を中止してください。2 枚または 3 枚の空白のラベルを前に進めて取り除き、再び印刷します。
ラベルがプリンターから出ない。	ラベルが内側で詰まっている可能性があります。	ラベルの詰まりを修正してください。26 ページの「ラベル詰まりの修正」を参照。

7 ラベル仕様

重要！ 特注のラベルは大量に注文する前に、使用する予定のプリンターですべてテストしてください！ Brady は、当社から注文されたカスタム ラベルのみに関して責任を負います。



ラベル感知方法

- ラベルのギャップ感知
- スルーホール開口部センサーの幅

	最大	最小
ラベル/印刷幅	108 mm (4.25")	19 mm (0.75")
台紙幅	108 mm (4.25")	25.4 mm (1")
ラベル高さ/長さ	609.6 mm (24")	6.4 mm (0.25")
ラベル間のギャップ	19 mm (0.75")	2.5 mm (0.10")
スルーホール開口部の幅	12.7 mm (0.5")	9.5 mm (0.375")
メディアの端からスルーホールの端までの距離	48.3 mm (1.90")	5.1 mm (0.20")
最大外径 (OD)	127 mm (5.0")	なし
コア内径	以下のロール仕様を参照	
ラベルの厚さ*	.0010" (10 mil)	なし
メディアの端からラベルの端までの距離	プリンタードライバーは2 mmのギャップを想定しています。ただし、これは左マージンのオフセットを使用すれば調整できます。	

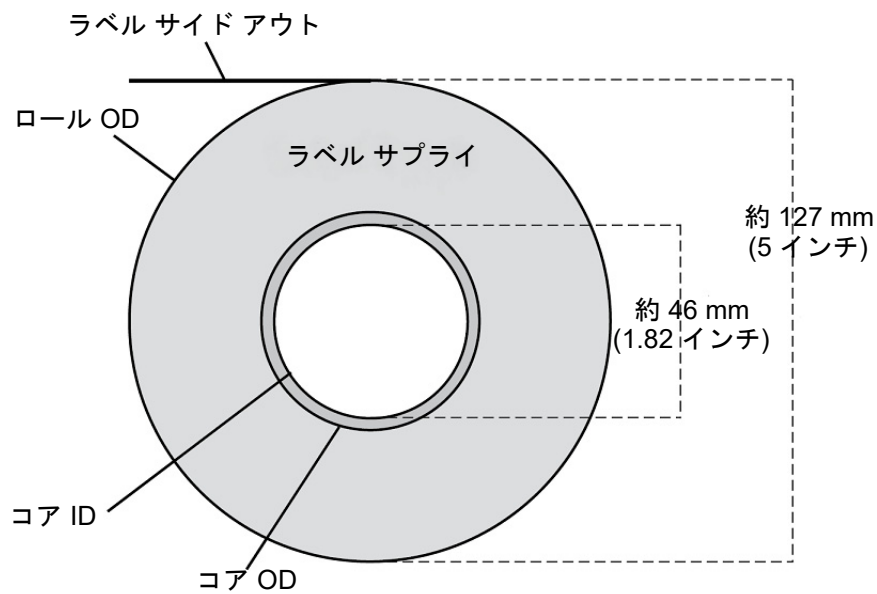
*これは推奨される最大値です。プリンターで特定のラベルの厚さを使用できるかどうかを決める要素は2つあります。

1. プリンターが印刷エリアを通して用紙を引っ張る能力。
2. センサーがダイカットに設定されている場合は、センサーがバックグランドを通して読み取る能力。

連続ラベル感知モードで印刷している場合、2は適用されません。プリンターはダイカットモードでバックグランドを通して読み取れなくてはならないため、印刷エリアを通して用紙を引っ張る能力よりもはるかに厚さが制限されます。ただし、サプライセンサーがラベルを感知できるように台紙の不透明度を調整すると、厚さを制限するのは、印刷エリアを通して用紙を引っ張るプリンターの能力のみになります。このため、台紙の重さまたは厚さは容易に定義できない変数です。

Bradyでは、あらゆるラベルで40#台紙を使用するようお勧めしています。

ロール仕様



付録： 規制へのコンプライアンス

該当機関へのコンプライアンスおよび承認

United States

FCC Notice

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications.

Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference and, (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Estados Unidos

Aviso de la FCC

Nota: Este equipo se puso a prueba y se confirmó que cumple con los límites para un dispositivo digital de Clase A, conforme a la Parte 15 de las Regulaciones de la Comisión Federal de Comunicaciones (Federal Communications Commission, FCC). Estos límites se han diseñado para proporcionar protección razonable contra interferencias perjudiciales cuando el equipo se utilice en un entorno comercial. Este equipo genera, utiliza y puede emitir energía de radiofrecuencia y, si no se instala y se utiliza según el manual de instrucciones, puede ocasionar interferencias perjudiciales en las radiocomunicaciones.

El uso de este equipo en un área residencial puede causar interferencias perjudiciales, en cuyo caso el usuario tendrá que corregir dichas interferencias por su cuenta.

Los cambios o las modificaciones que no hayan sido aprobados expresamente por la parte responsable del cumplimiento pueden invalidar la autorización que se le otorga al usuario para utilizar el equipo.

Este dispositivo cumple con la Parte 15 de las Regulaciones de la FCC. El uso está sujeto a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este dispositivo no provoque interferencias perjudiciales y (2) este dispositivo debe aceptar cualquier interferencia recibida, incluso aquella que pueda generar un uso no deseado.

Canada

Innovation, Science and Economic Development (ISED)

Canada ICES-003:

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

Mexico

IFETEL notice: La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

ヨーロッパ



警告！ 本装置は、クラス A 製品です。国内環境では、本製品によって電波干渉が発生する場合があります。この場合、ユーザーは適切な措置を講じるよう求められる場合があります。



廃電気電子機器指令

本装置は欧州 WEEE 指令のもと、現地の規則に従ってリサイクルする必要があります。

RoHS 指令 2011/65/EU、2015/863/EU

本製品は CE マークの認定を受けており、電気・電子機器における特定の危険物質の使用制限に関する 2011 年 6 月 8 日の欧州議会および理事会の欧州連合指令 2011/65/EU に準拠しています。

2015 年 3 月 31 日の EU 指令 2015/863 は、制限物質リストに関する欧州議会および理事会の指令 2011/65/EU 付録 II の修正版となります。

Turkey

Turkish Ministry of Environment and Forestry

(Directive on the Restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment).

Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur

無線の規制に関する情報

ワイヤレス認証を取得していることを示す規制標示（国の認定によって異なります）がホストプリンターに貼付されています。認証されている国の詳細なリストは、www.BradyID.com/J2000compliance をご覧ください。



警告！ 規制機関の認証なく本装置を操作することは違法です。

無線プロトコル	ISO15693 準拠 RFID リーダー/ライター
RF 動作周波数	13.56 MHz
RF 出力	< +20dBm EIRP (100Mw) < +23dBm (200mW)
アンテナ タイプ	PCB ループ アンテナ、2.5 μH @ 13.56 mHz

United States

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications.

Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at own expense.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference and, (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Información reglamentaria sobre conexiones inalámbricas

Las marcas reglamentarias, sujetas a la certificación de cada país, se aplican a la impresora host, lo que significa que se obtuvieron las aprobaciones (de radio) de wifi. Entre estos países, se encuentran Estados Unidos, Canadá, México, Australia, Nueva Zelanda, Sudáfrica, Corea del Sur y países de la Unión Europea.



¡ADVERTENCIA! El uso del dispositivo sin la aprobación de los organismos reguladores es ilegal.

Protocolo de radio	IEEE 802.11b/g/n para WLAN
Frecuencia de operación de RF	2,4 GHz-2,495 GHz
Potencia de salida de RF	Potencia isotrópica radiada equivalente < +20 dBm (100 mW)
Tipo de antena\Ganancia de antena	Antena de trazado en placa de circuito impreso \-3,06 dBi
Condiciones ambientales de uso	-40 °C a 85 °C (-40 °F a 185 °F) Nota: Recuerde consultar la guía del usuario de la impresora host de Brady para conocer las temperaturas máximas de uso
Condiciones ambientales de almacenamiento	-55 °C a 125 °C (-67 °F a 257 °F) Nota: Recuerde consultar la guía del usuario de la impresora host de Brady para conocer las temperaturas máximas de almacenamiento.

Estados Unidos

Nota: Este equipo se puso a prueba y se confirmó que cumple con los límites para un dispositivo digital de Clase A, conforme a la Parte 15 de las Regulaciones de la FCC. Estos límites se han diseñado para proporcionar protección razonable contra interferencias perjudiciales cuando el equipo se utilice en un entorno comercial. Este equipo genera, utiliza y puede emitir energía de radiofrecuencia y, si no se instala y se utiliza según el manual de instrucciones, puede ocasionar interferencias perjudiciales en las radiocomunicaciones.

El uso de este equipo en un área residencial puede causar interferencias perjudiciales, en cuyo caso el usuario tendrá que corregir dichas interferencias por su cuenta.

Los cambios o las modificaciones que no hayan sido aprobados expresamente por la parte responsable del cumplimiento pueden invalidar la autorización que se le otorga al usuario para utilizar el equipo.

Este dispositivo cumple con la Parte 15 de las Regulaciones de la FCC. El uso está sujeto a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este dispositivo no provoque interferencias perjudiciales y (2) este dispositivo debe aceptar cualquier interferencia recibida, incluso aquella que pueda generar un uso no deseado.

Declaraciones sobre la colocación: A fin de cumplir con el requisito de cumplimiento de la FCC relativo a la exposición a RF, la antena que se utilice para este transmisor no debe ubicarse ni utilizarse junto con ningún otro transmisor o antena, a excepción de aquellos que ya se incluyen en el módulo de radio.

Pautas sobre la exposición a RF: La potencia de salida irradiada de este dispositivo está muy por debajo de los límites de exposición a radiofrecuencia. No obstante, para evitar que se superen los límites de exposición a radiofrecuencia en un entorno no controlado, se debe mantener una distancia mínima de 20 cm entre la antena (interna) en placa de circuito impreso del módulo de radio de wifi y la cabeza, el cuello o el cuerpo durante el uso normal.

Canada

Innovation, Science and Economic Development (ISED)

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

This device complies with Industry Canada's license-exempt RSSs. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause interference; and
2. This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Mexico

IFETEL notice:

"La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada."

欧州連合 (EU)

本装置は、クラス A 製品です。国内環境では、本製品によって電波干渉を発生する場合があります。この場合、ユーザーは適切な措置を講じるよう求められる場合があります。

無線機器指令 (RED) 2014/53/EC

- a. 無線機器が動作する周波数帯域 : 13.56 MHz
- b. 無線機器が動作する周波数帯域において送信される最大無線周波電力 : : < +23dBm EIRP (200mW)

海外

Brady ホスト プリンターで使用される RFID モジュールは、人体の電磁場への暴露をはじめとする国際的に認められている規格、すなわち EN 62311 「Assessment of electronic and electrical equipment related to human exposure restrictions for electromagnetic fields (0 Hz - 300 GHz)」 (電磁場の人体暴露制限に関する電子および電気機器の評価 (0 Hz~300 GHz)) に準拠しています。